

# 森のひろば

フォレスト・ニュース

イベント特集号

近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## 水都おおさか森林（もり）の市 2016



「水都おおさか森林の市・木づかい実行委員会」は、10月2日（日）、近畿中国森林管理局及び毛馬桜之宮公園において、「水都おおさか森林の市 2016」を開催し、約2万人の来場者で賑わいました。

昭和62年から始まった「森の市」は、森林の恵みや木に触れることで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深め、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目的として、毎年開催しているイベントで、今年で30回目、また地元地域や森林林業関係団体を中心に構成された当実行委員会での開催としては、10回目を迎えました。

今年は「遊んで さわって 食べてみて 森林のめぐみを 体験！体感！」をテーマに、56団体の出展ブースが並び、さまざまな体験コーナーをはじめ、木製品や地域の特産品等が集まりました。また、緑を育む大切さをPRするため、キンモクセイなどの苗木の無料配布も行いました。



近畿中国森林管理局のブースでは、水源の森ジオラマづくり体験や竹クラフト、木製家具・木づかい展示、国有林の取組み紹介コーナーを設け、森林や木材利用について来場者に知っていただくとともに、プログラムに参加して楽しんでいただきました。

また、2代目「ミス日本 みどりの女神」の飯塚帆南さんにご来場いただき、会場内を隈無く歩き木々と触れ合いながら、来場者の方々へ森林・林業・木材の魅力や素晴らしさをPRしていただきました。



「ミス日本 みどりの女神」の飯塚帆南さんの来場により、一層華やかな雰囲気にも包まれた会場内では、近年深刻化する獣害について理解を深めていただくため、狩猟用具や模擬銃が展示され、シカ肉の試食も提供されたほか、炭燃料を使った原木シイタケの炭火焼き体験や丸太切り、つるかご編み、木工クラフト体験、親子で椅子づくり体験ブースも人気を集め、世界に一つだけのオリジナル作品づくりに皆さん熱中されていました。

また、絵本の読み聞かせコーナーでは、大きな絵本を前に子どもたちは絵本の世界に引き込まれ、聴き入っていました。



さらに、丸太切り体験やスギ板張り体験では、普段できない体験に触れた子どもたちの笑顔があふれていました。そのほか、高知県産ヒノキの温かみのある木の玉を敷きつめた「木の玉プール」など木のオモチャで遊べるキッズコーナー、測量技師体験、大川でのボート乗船体験、木製品の販売など、さまざまなブースが多数出展され、子どもから大人まで一日ゆっくと楽しんでいただけたようです。



来場者からは、「森林の大切さを再認識する機会で大変有意義である」、「間伐材使用商品を買うことで、森がきれいになればいいなと思いました」、「ジビエや原木しいたけ（炭火焼き）が食べられたので楽しかった」、「子どもが木のおもちゃで遊んで、とても喜んでいました」などの感想をいただきました。

## 「山の日」制定記念「森林と木材！フォトコンテスト」入選作品

平成 28 年 10 月 2 日（日） 近畿中国森林管理局及び毛馬桜之宮公園一帯で開催された「水都おおさか森林の市 2016」会場で、入賞作品の表彰式と発表会を開催しました。

応募総数 66 作品から、入賞した 7 作品の表彰式と発表会を開催。当日は、入賞者 7 名にお越し頂き、表彰式の後、作品への想いを語っていただきました。森林の市会場全体には約 2 万人の来場がありましたが、フォトコンテストの発表会場へも多くの方が来場いただき、発表や展示された作品を熱心に見ておられました。

以下、受賞者の方のコメントやメッセージを掲載します。

### 近畿中国森林管理局長賞 (森林で見つけた動植物) 『古からの宝物』 金田 勇希 秋田県能代市

私は若い頃、溪流釣りに熱中し、近場の八峰町などに通い詰めました。自然が織り成す雄大な景色の中で釣りをしていく中で、特にカメラを購入してからは川の源である山や、森林の美しさにも興味が広がっていきました。今では動植物、そして私達人間がいかに自然や森林の恩恵を受けているか考えない日はありません。写真のブナと杉は自然の偉大さを、アカショウビンはその恩恵に預かりながら生きる動物を表現しております。

自然よ、森林よ、ありがとう。



近畿中国森林管理局長賞

(森林での体験・活動) 『森の小さな芸術家たち』

いきいき成器保育園 奥村 光明 鳥取県鳥取市



4月に出かけた鎮守の森で、園児達が大きなタモの木を発見しました。緑の苔にすっぽり包まれた太い幹は、格好のキャンパス。拾い集めた木の枝や葉っぱを、みんな真剣な表情でその上に置きました。どうですか、この出来栄え。森の小さな芸術家達は満足顔です。何やら、森の精も微笑んでいるみたい。あらためて園児達の想像力に脱帽です。

いきいき成器保育園では、里山の森に積極的に出かけて行き、園児達の豊かな感性を育む保育に力を入れています。



近畿中国森林管理局長賞

(木材と人との触れあい) 『木の学び舎』 橋本 直子 兵庫県西宮市

普段はコンクリートでできた小学校に通っている子どもたちを連れて、木造校舎に遊びに行きました。親世代は古びた木の校舎を懐かしく感じ、子どもたちは「木ってあたたかいね」「転んでも痛くない!」と木のよさを実感したようでした。このような木造建築物を大切に保存し、後世にそのすばらしさを伝えていくことがわたしたちの役目だと思います。



会場の様子



## 優秀賞

(森林で見つけた動植物) 『近くの森の動物達』 太田 和夫 大阪府吹田市

エキスポ'90みのお記念の森は、自宅から近い所にあり、野鳥撮影によく行きますが、多くの動物達にも出会います。

## ① 親子の猿

水飲み場で野鳥を待っていたところ、突然数十匹の猿の群れが現れ驚きましたが、親子の猿の睦まじい姿には、怖さを一瞬忘れ見入ってしまいました。

## ② 初めて見た鮮やかな青色した蝶、ルリタテハにも感動。

## ③ 珍しいテンにも遭遇。

この豊かな環境を大事に守っていきたいと思います。



## 優秀賞

(森林で見つけた動植物) 『森は生きている』 佐伯 範夫 島根県安来市

奥深い山中にはいろんな動植物が生息しています。

何年も生き延びるものもあれば、数週間ほどで死んでしまうものもあります。

ヒメボタルがその一つです。

そして何の変哲もないこの森に昼には見ることのできない夜の顔を作ってくれます。

寿命は短いけど子孫を残すため精一杯生きているのです。

そのけなげない生き方に人間は邪魔しないで見守る努力をし、子供や孫に伝える義務があります。今年も金色の美しい光を放つヒメボタルの季節がやってきました。



優秀賞

(森林で見つけた動植物) 『枯木の象形』 湯川 喜義 長野県木祖村

登山は、私の趣味のうち、大きなウェイトを占めるものの一つである。山へ登っていると、突然、異様な姿をした枯木に出会うことがある。

普段、人目にも触れず、ひっそりと佇んでいる山の中の枯木。

ここに紹介するのも、何とも不思議な形をした枯木のひとつである。

ひとつめは、マンモスのような、ヒツジのような形をした大きな枯木。緑の茂みから又ッと立ち上がり、あたかもこちらを威嚇しているような形相でジッと睨みつけている。あるいは、モダンダンスをしているような仕草でもある。



もうひとつは、白い大蛇のようにうねった形をしている枯木。急坂を登ったとたん、突然、目の前に現れギョッとし、心臓が止まりそうなほどびっくりした枯木。あるいは、白狐が変身して獲物を待ち構えているような仕草でもある。



どうしてこんな形になったのか、元の木はどんな形をしていたのか、思いをはせるのも楽しみのひとつである。意思があるのなら聞いてみたい気がする。

こんな枯木に出会うのも山登りの喜びの一つである。

審査員特別賞

(森林で見つけた動植物) 『白山高山植物園の花』 矢田 玲士 石川県金沢市



石川県白山市の白峰にある白山高山植物園には、毎年通っています。今年は6月5日と6月19日の2回行きました。

駐車場から5分くらいの山道を登って、森が開けたところに植物園があります。

写真のとり方をお母さんに教えてもらいながら、何十枚もとった中から、うまくとれた写真をおうぼします。

